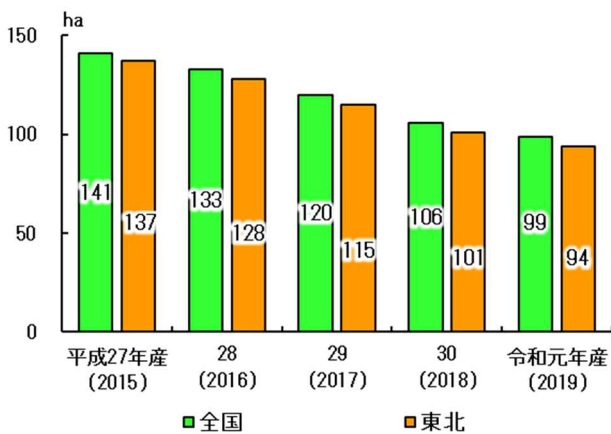


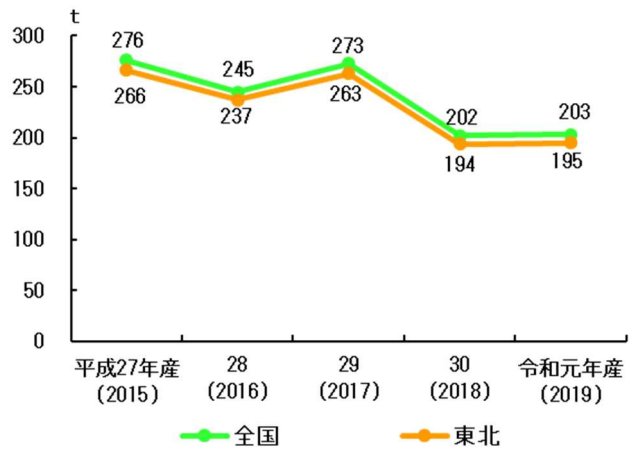
(ホップの収穫面積は、前年産より減少、収穫量は、前年産より増加)

- 全国ホップ収穫面積の95%を占める東北のホップの収穫面積は、令和元(2019)年産では、高齢化に伴う廃業や後継者不足により、前年産に比べて6.9%減少し、94haとなりました(図表 参2-40)。
- また、ホップの収穫量は、気象被害や病害虫被害があったものの作柄は良く、前年産に比べて0.5%増加し、195tとなりました。(図表 参2-41)。

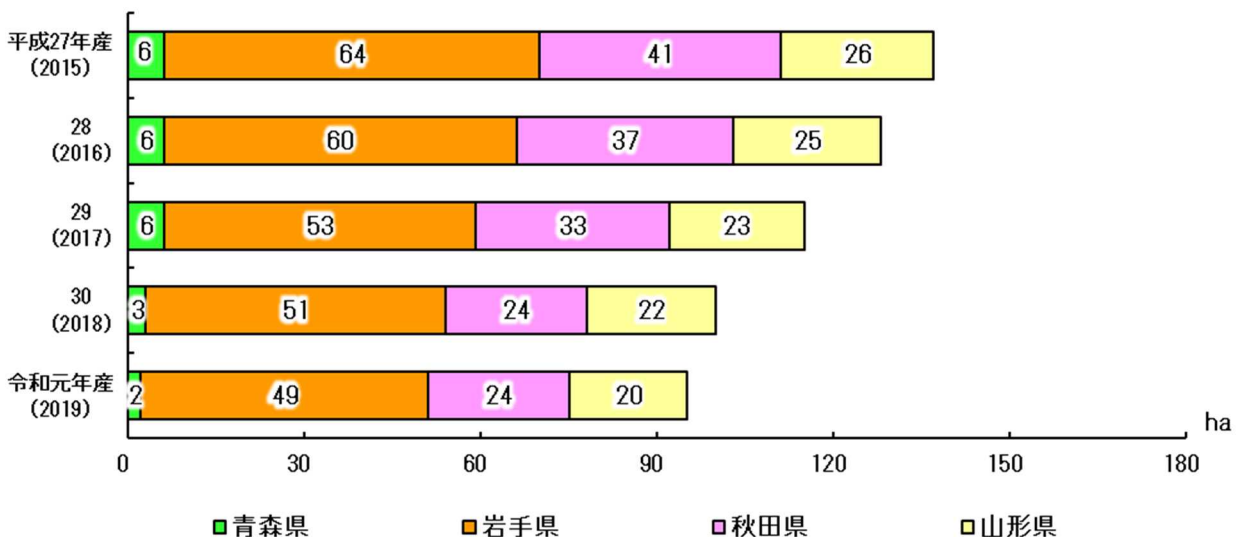
図表 参2-40 ホップ収穫面積の推移 (全国・東北)



図表 参2-41 ホップ収穫量の推移 (全国・東北)



図表 参2-42 ホップ収穫面積の推移 (県別)



資料：全国ホップ連合会「ホップに関する資料」

注：収穫面積の推移(全国・東北)の東北の値と収穫面積の推移(県別)各県の値は、データごとに四捨五入するため、一致しない場合がある。

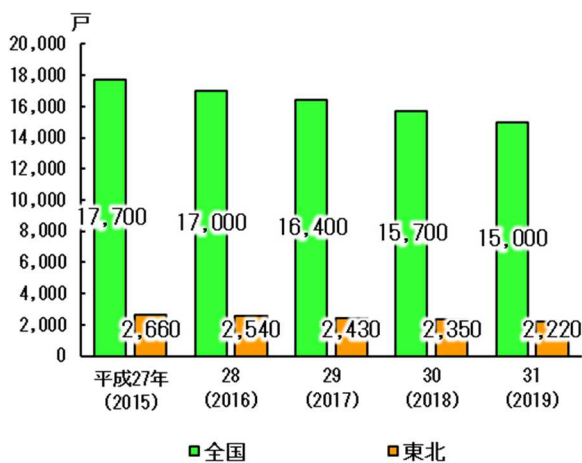
8. 畜産・飼料作物

(1) 乳用牛

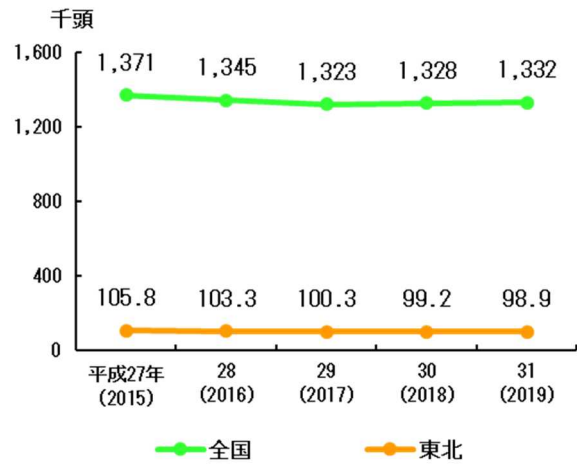
(乳用牛飼養戸数、飼養頭数は、前年より減少)

- 平成31(2019)年の東北における乳用牛の飼養戸数は、前年に比べて5.5%減少し、2,220戸となりました(図表参2-43)。
- また、乳用牛の飼養頭数は、前年に比べて0.3%減少し、9万8,900頭となりました(図表参2-44)。
- なお、1戸当たり飼養頭数をみると、東北は44.5頭で前年に比べて2.3頭増加したものの、全国平均88.8頭を大きく下回っています(図表参2-46)。

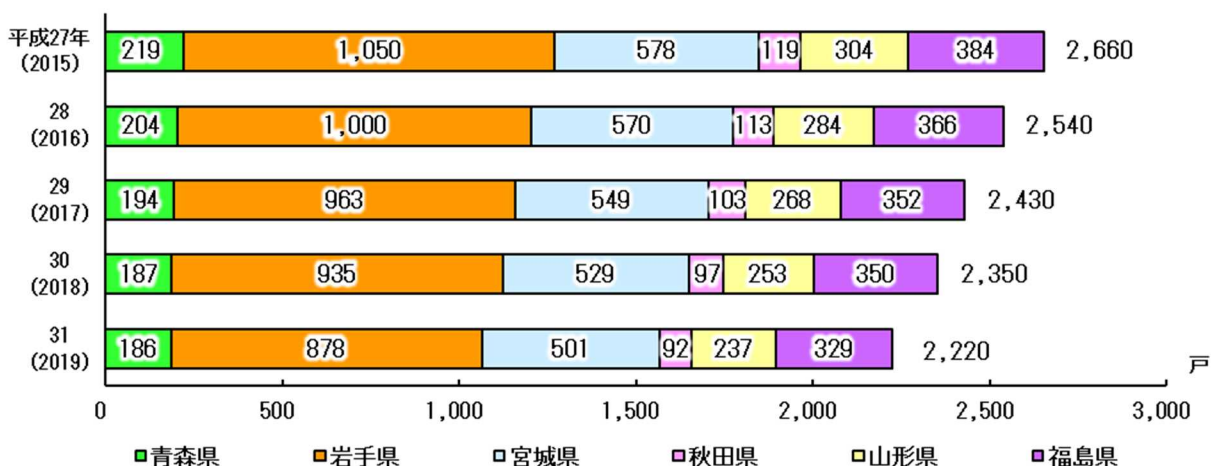
図表 参2-43 乳用牛飼養戸数の推移
(全国・東北)



図表 参2-44 乳用牛飼養頭数の推移
(全国・東北)



図表 参2-45 乳用牛飼養戸数の推移(県別)

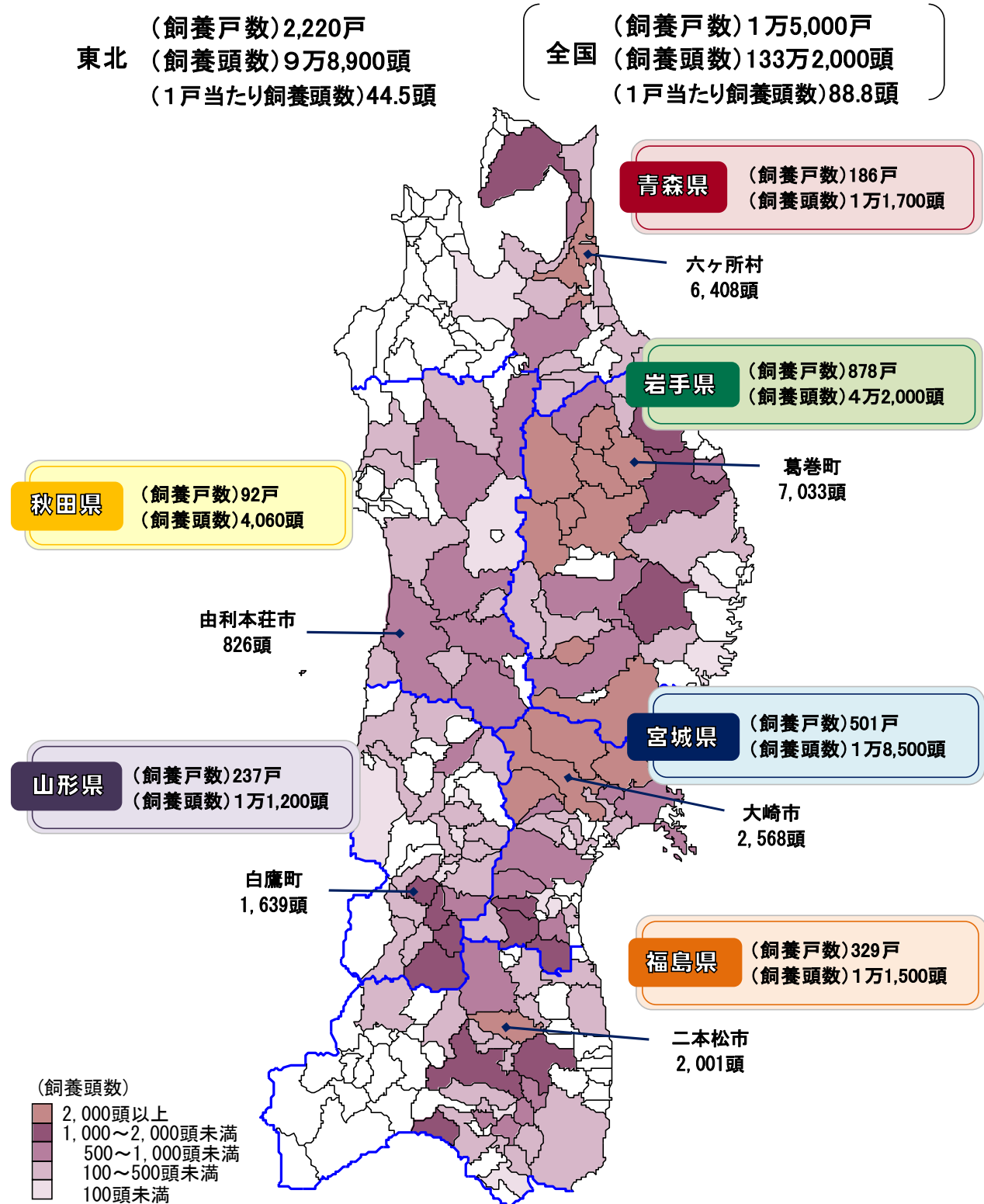


資料：農林水産省「畜産統計」

注：1) 各年2月1日現在の値

2) 飼養戸数の推移(全国・東北)の東北の値と飼養戸数の推移(県別)の各県の値は、データごとに四捨五入するため、一致しない場合がある。

図表 参 2-46 乳用牛の飼養頭数（平成 31(2019)年 2月 1日現在）



資料：農林水産省「畜産統計」「2015年農林業センサス」

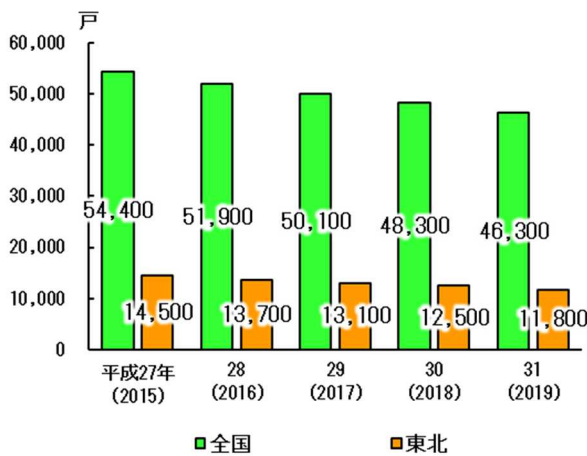
- 注：1）全国、東北、県別の数値は平成 31(2019)年 2月 1日現在、市町村別の数値は 2015 年農林業センサスに基づく、平成 27(2015)年の値である。
- 2）個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、一部の市町村の乳用牛飼養頭数を公表していないことから、当該市町村は白色としている。
- 3）東京電力福島第 1 原子力発電所の事故による避難指示区域内（平成 26(2014)年 4月 1日時点の避難指示区域である福島県楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村の全域並びに南相馬市、川俣町及び川内村の一部地域）については、調査を実施できなかったため、2015 年農林業センサス結果には含まれていない。
- 4）表示した市町村は、各県内で乳用牛の飼養頭数が公表されている市町村で最も多い市町村である。

(2) 肉用牛

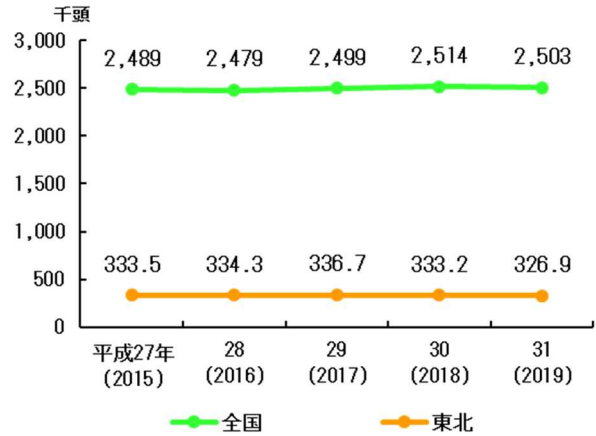
(肉用牛飼養戸数、飼養頭数は、前年より減少)

- 平成31(2019)年の東北における肉用牛の飼養戸数は、前年に比べて5.6%減少し、1万1,800戸となりました(図表参2-47)。
- また、肉用牛の飼養頭数は、前年に比べて1.9%減少し、32万6,900頭となりました(図表参2-48)。
- なお、1戸当たり飼養頭数をみると、東北は27.7頭で前年に比べて1.0頭増加したものの、全国平均54.1頭を大きく下回っています(図表参2-50)。

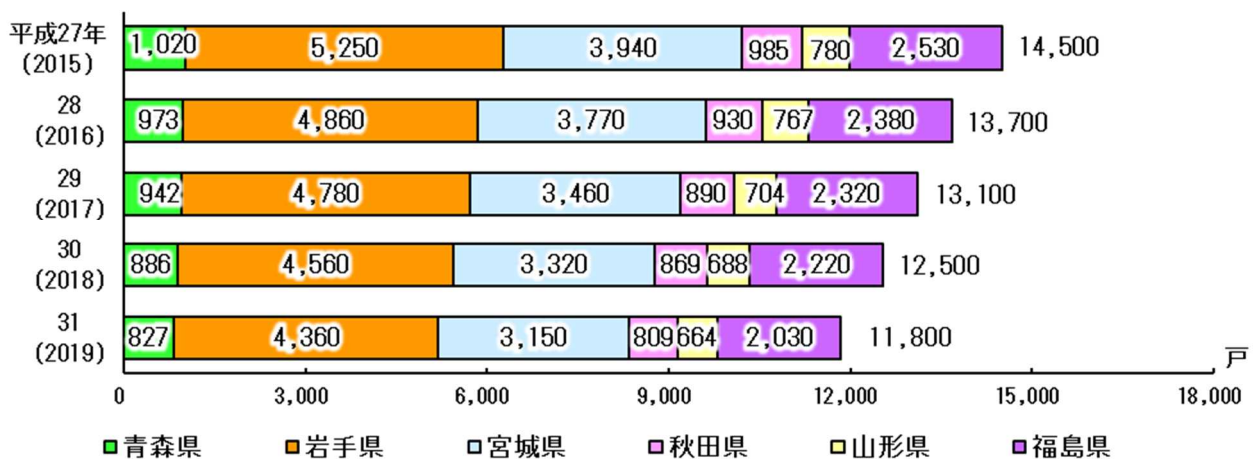
図表 参2-47 肉用牛飼養戸数の推移 (全国・東北)



図表 参2-48 肉用牛飼養頭数の推移 (全国・東北)



図表 参2-49 肉用牛飼養戸数の推移 (県別)



資料：農林水産省「畜産統計」

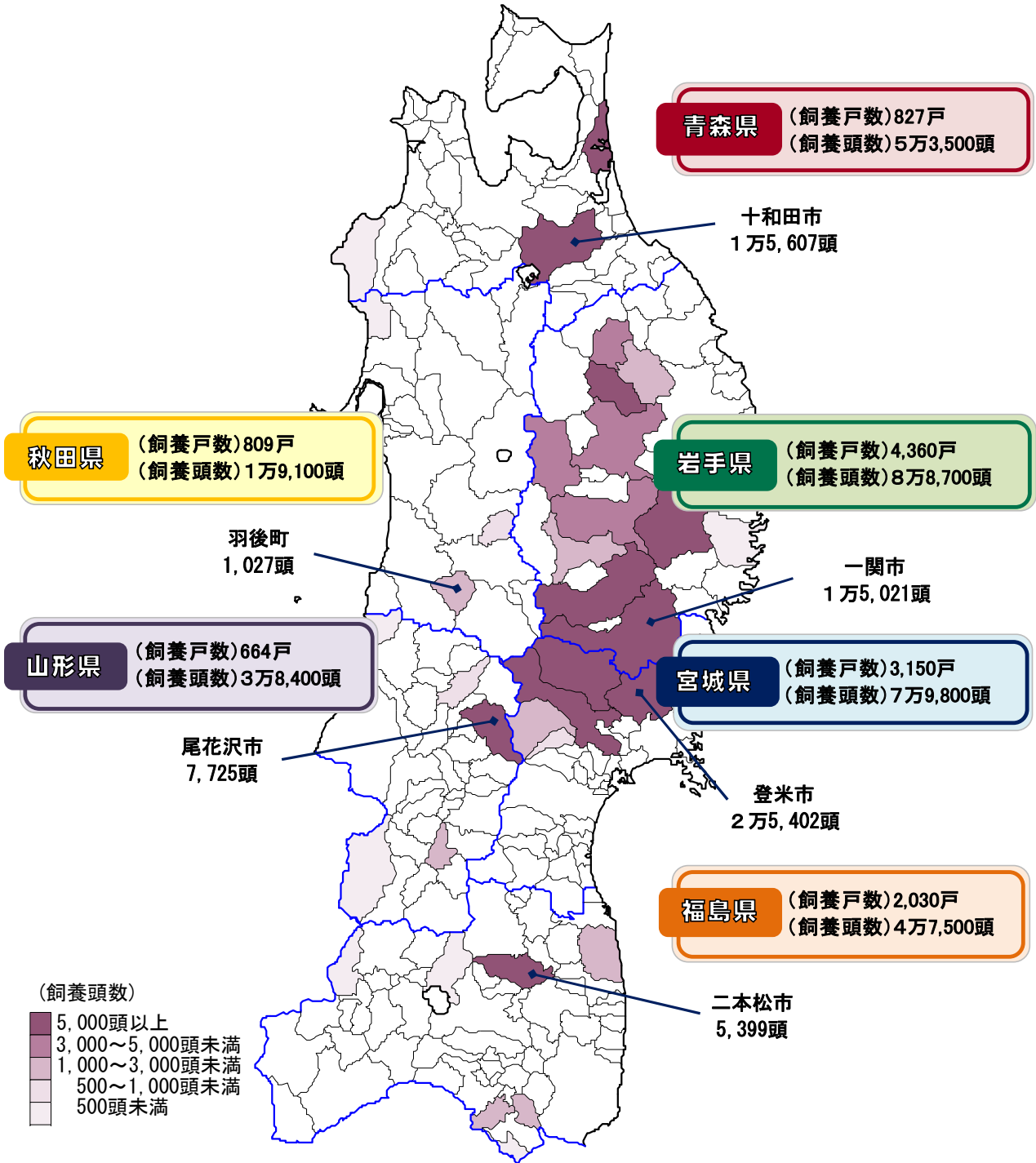
注：1) 各年2月1日現在の値

2) 飼養戸数の推移(全国・東北)の東北の値と飼養戸数の推移(県別)の各県の値は、データごとに四捨五入するため、一致しない場合がある。

図表 参 2-50 肉用牛の飼養頭数（平成 31 (2019) 年 2 月 1 日現在）

（飼養戸数）1万1,800戸
 東北（飼養頭数）32万6,900頭
 （1戸当たり飼養頭数）27.7頭

（飼養戸数）4万6,300戸
 全国（飼養頭数）250万3,000頭
 （1戸当たり飼養頭数）54.1頭



資料：農林水産省「畜産統計」「2015年農林業センサス」

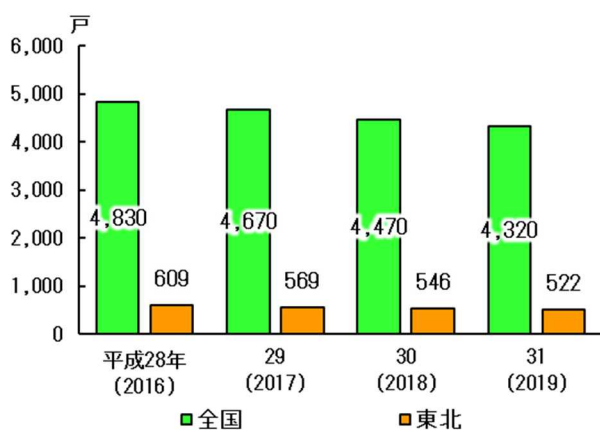
- 注：1）全国、東北、県別の数値は平成 31 (2019) 年 2 月 1 日現在、市町村別の数値は 2015 年農林業センサスに基づく、平成 27 (2015) 年の値である。
- 2）個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、一部の市町村の肉用牛飼養頭数を公表していないことから、当該市町村は白色としている。
- 3）東京電力福島第 1 原子力発電所の事故による避難指示区域内（平成 26 (2014) 年 4 月 1 日時点の避難指示区域である福島県楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村の全域並びに南相馬市、川俣町及び川内村の一部地域）については、調査を実施できなかったため、2015 年農林業センサス結果には含まれていない。
- 4）表示した市町村は、各県内で肉用牛の飼養頭数が公表されている市町村で最も多い市町村である。

(3) 豚

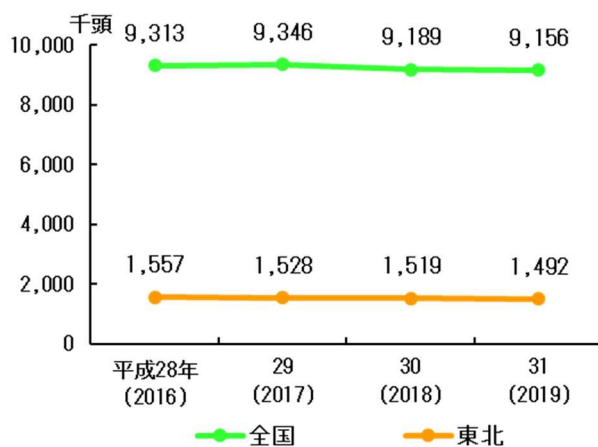
(豚飼養戸数、飼養頭数は、前年より減少)

- 平成31(2019)年の東北における豚の飼養戸数は、前年に比べて4.4%減少し、522戸となりました(図表参2-51)。
- また、豚の飼養頭数は、前年に比べて1.8%減少し、149万2,000頭となりました(図表参2-52)。
- なお、1戸当たり飼養頭数をみると、東北は前年に比べて76.1頭増加し、2,858.2頭で、全国平均2,119.4頭を上回っています(図表参2-54)。

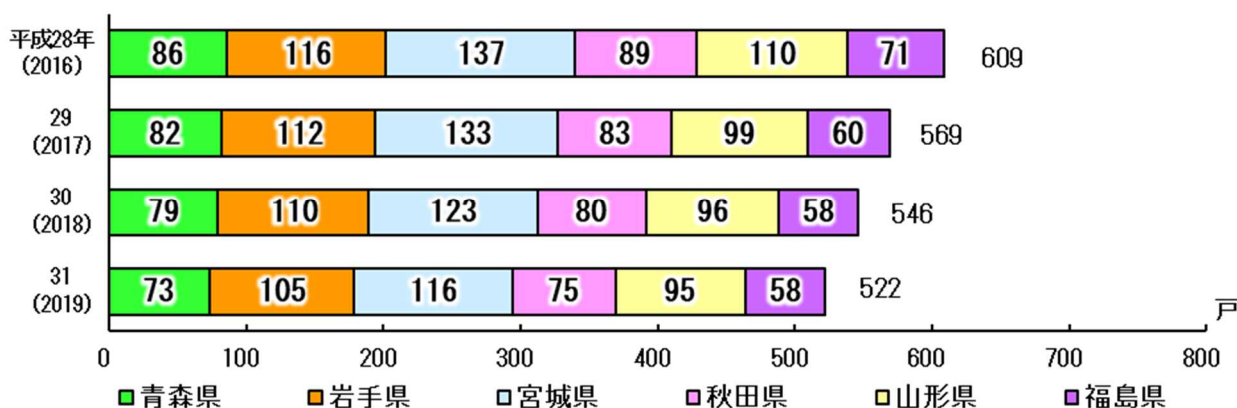
図表 参2-51 豚飼養戸数の推移 (全国・東北)



図表 参2-52 豚飼養頭数の推移 (全国・東北)



図表 参2-53 豚飼養戸数の推移 (県別)



資料：農林水産省「畜産統計」

注：1) 各年2月1日現在の値

2) 飼養戸数の推移(全国・東北)の東北の値と飼養戸数の推移(県別)の各県の値は、データごとに四捨五入するため、一致しない場合がある。

3) 2015年農林業センサス実施年のため、平成27年畜産統計調査は豚の調査を休止